平成 25 年２月 14 日

各　　位

会社名　株式会社ウェッジホールディングス
代表者名　代表取締役社長　田代　宗雄
（コード 2388　大証ＪＡＳＤＡＱ市場）
問合せ先　執行役員　横山　幸弘
（TEL　03 － 6225 － 2207）

平成 25 年９月期第１四半期決算における主要トピックスについて

当社は平成 25 年２月 14 日に第１四半期の決算発表をいたしました。主要なトピックスについて下記に解説させていただきます。株主及び投資家の皆様におかれましては引続き当社グループの事業に関してご理解・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

記

＜総括＞　ファイナンス事業の成長が顕著、連結純利益が 330%超の伸張

（連結経営成績）

（単位：千円）

	2012 年９月期 第１四半期	2013 年９月期 第１四半期	対前年比増減
売上高	800,947	988,874	23.5%
営業利益	231,774	221,111	-4.6%
経常利益	220,186	227,929	3.5%
当期純利益	11,159	48,354	333.3%

●　売上高

売上高においては、主にファイナンス事業において洪水の影響からの復興、営業拡大により新規契約数が急速に拡大し、月間新規契約数記録を連続で更新し続けるなど飛躍的な成長が続いております。このため、売上高は急速に拡大が続き 23.5%の増加となりました。

●　営業利益・経常利益

営業利益においては、ファイナンス事業の利益拡大が続いたもののコンテンツ事業において前年同期に過去最高であったロイヤリティ収入が本年においては相対的に低調であったことが影響し微減となりました。一方で経常利益は、円安の影響から外貨建て資産の為替差益が発生したこともあり 3.5%の増加となっています。

● 四半期純利益

四半期純利益については、333.3%増の大幅増となりました。前年同期は法人税率の変更にともない繰延税金資産の取り崩しが発生するなどの要因があったことからも、当四半期ではファイナンス事業の好調を反映した増益となっています。

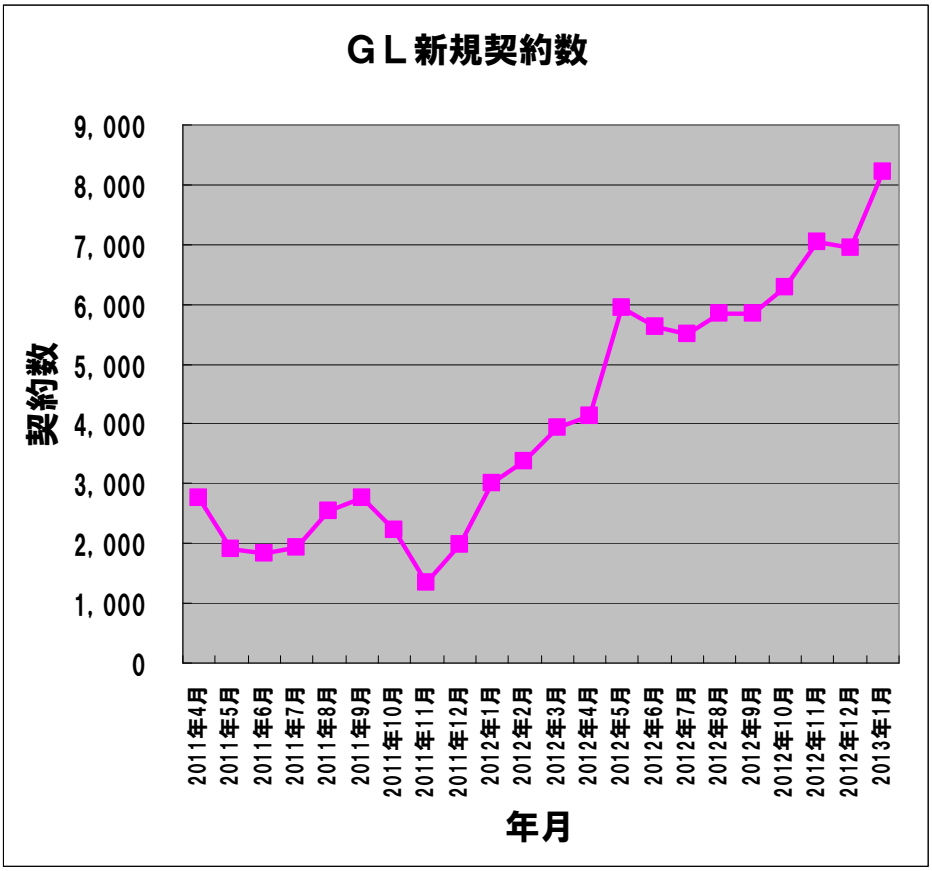
なお、売上高及び各利益項目全般に関して、前年同期と比較し円安が進行しておりますことから海外事業の収益は円建て額で増加することとなりました。（当社グループにおける主要な海外事業通貨であるタイバーツに関しては平均為替レートが前年同期の１バーツ 2.47 円から 2.70 円と円安が進行し、海外での収益は円建てでは前年同期比で約９％増加する影響を受けております。）

＜主な事業トピックス＞

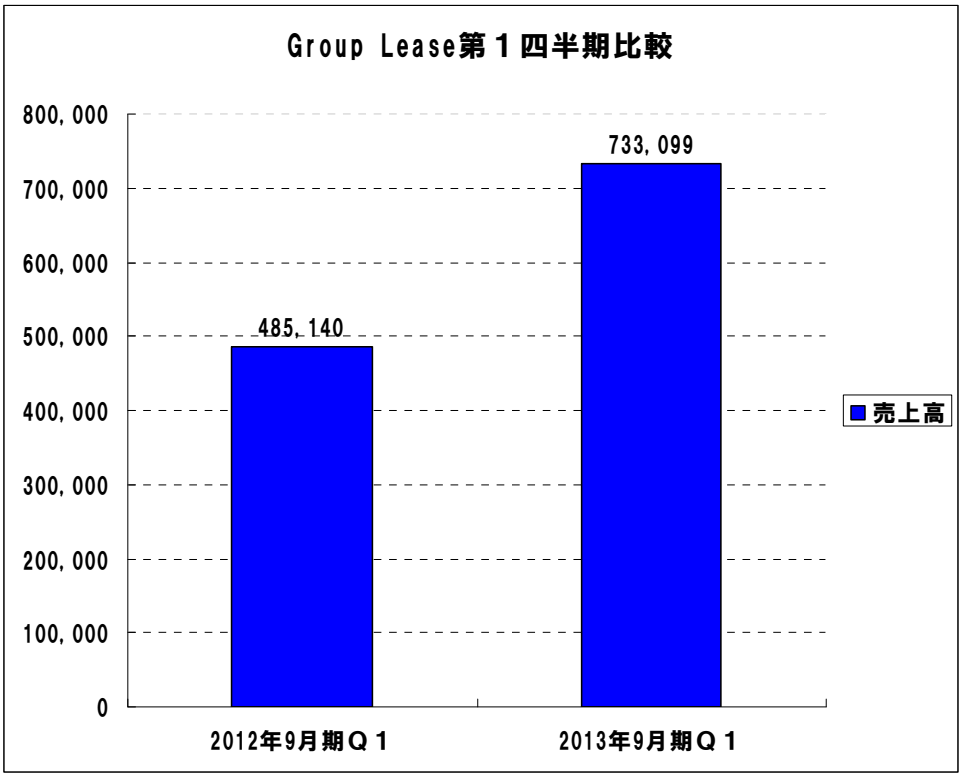
● ファイナンス事業:　大幅増収増益の大躍進

- 前年下半期以降から始まった新規契約増が続き、売上高が伸張、現地通貨建てで38.2%増、円安の影響も踏まえた円建てでは前年比51.1%増の飛躍的成長を果たしました
- 営業利益でも円建てで18.9%増、タイ国内とASEAN各国への事業拡大にむけて先行投資的費用増を吸収して大幅増益となりました
- タイ国内で新規契約拡大が続き、カンボジアをはじめとした営業地域拡大への取り組みも順調に推移しました。

＜Group Lease PCL新規契約高推移＞



＜売上高前年同期比較グラフ＞



● コンテンツ事業は前年の反動で減益、第２四半期以降に拡大へ

- コンテンツ事業は前年同期にカードゲームのロイヤリティ収入が過去最高であったのに対し、当四半期は好調を維持したものの、前年に比べると比較的低調でありました。その影響で減収減益に留まっております。
- 一方カードゲームを始めとした新規案件を積極的に開拓。取引先の開拓が順調にすすみ、新規開発にも着手して順調に推移しています。当四半期は先行投資的費用が発生しておりますが、第２四半期以降に新規案件の売上高計上を見込んでおります。

● 物販事業は黒字転換、経営方針に基づき第２四半期に事業譲渡を決定

- 事業環境に合わせて前年に大幅に固定費を削減、当四半期で黒字転換を達成しました
- 前期に策定した経営計画に従い事業の選択と集中を決断。今後の事業支援に最適なパートナーと合意し、２月12日事業譲渡を決定しました。

● **通期業績予想と進捗状況について**

- 通期および半期の業績予想に対しては順調に推移しております。
- 新規契約の拡大ペースが続いているファイナンス事業では、累積契約数の蓄積により下半期に大幅に売上高および収益性拡大が見込まれます。

（単位：千円）

	2013年9月期 第1四半期実績	通期業績予想	進捗率
売上高	988,874	4,000,000	24.7%
営業利益	221,111	1,250,000	17.7%
経常利益	227,929	1,250,000	18.2%
当期純利益	48,354	400,000	12.1%

● **円安による海外収益への好影響について**

- 当四半期は、海外事業の主要通貨であるタイバーツに対しても円安が進行、ファイナンス事業を中心とした海外の売上高は約９％拡大する影響を受けました。
- 平成25年９月期業績予想時点での想定タイバーツレートは１バーツ2.5円となっており平成25年２月13日現在では１バーツ3.14円と円安が進行しております。
- １バーツあたり0.1円の円安となった場合、営業利益において約５千万円の増益効果が見込まれております。

以　上